

令和 5 年度事業報告・決算報告書（仮）

令和 6 年 5 月 31 日

公益財団法人福武財団

I. 事業の状況

今年度の当財団は、5月8日から新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行し、外出自粛がなくなるとともに、海外インバウンドも回復したことから、延べ来館者数は447,614名と予算比119%、瀬戸内国際芸術祭開催年であった前年度比96.7%、平成30年度（コロナ以前の通常年）比では97.9%の水準まで戻ってきている。海外からの来館者数は全体の4割と順調に回復してきている。

当年度の新たな美術作品展開としては、直島の瀬戸内「直島部活史」資料館などの展示のほか、直島新美術館（仮称）の建築が進行し、作家や作品を検討するなど準備が進んでいる。また、対話型鑑賞法を活用した教育プログラムは更に広がりを見せており、一般向け、大学・高校・中学向け、地元の小中学校向けなど多くのプログラムが実施された。

助成事業は、アートによる地域振興助成では研修助成を海外から学びに来る人を対象に行ったほか、通常規模の助成を行い、助成先情報共有会は対面とオンラインでのハイブリット形式で実施した。瀬戸内国際芸術祭2025の準備のため、当財団内に瀬戸芸事業部を設置し、瀬戸内国際芸術祭実行委員会の一員として取り組みをはじめた。

また、令和5年1月1日付けでの理事長交代による新体制を受け、令和5年4月1日付けで事務局長が交代し、財団の更なる発展に向けた体制強化が進められている。

A 美術館及び美術施設の設置運営に関する事業

以下の美術施設の運営を行った。なお、当年度は、前年の芸術祭年度から通常年度に戻る年であったが、国内および海外からのインバウンドとコロナ禍からの回復があり、大きく改善してきている。

①. 「地中美術館」の運営

ベネッセアートサイト直島の中核施設として、安藤忠雄設計の環境へ配慮した美術館に、クロード・モネの「睡蓮」シリーズ他を展示、年間283日を開館、169,156人（対前年+34,734人、125.8%）の入館があった。なお、児童等の無料入館者は13,476人であった。また、当年度も予約制による運営を継続している。

②. 「李禹煥美術館」の運営

安藤忠雄設計の美術館に「もの派」を代表する作家李禹煥の作品を展示、年間283日を開館。68,729人（対前年+18,338人、136.4%）の入館があった。なお、児童等無料入館者は4,918人であった。

③. 「直島銭湯『I♥湯』」の運営

大竹伸朗の作品を展示する直島銭湯『I♥湯』を年間257日開館、26,227人（対前年△9,848人、72.7%）の入館者に対し、日本文化の普及と地域交流の場の提供を行った。なお、運営は直島町観光協会に委託、施設入館料は当財団に帰属する事業構造としている。

④. 「ANDO MUSEUM」の運営

安藤忠雄建築研究所設計のANDO MUSEUMは、直島の木造古民家と安藤建築が融合したMUSEUMで、年間304日開館。59,595人（対前年+5,997人、111.2%）の入館があった。なお、児童等無料入館者は3,793人であった。

⑤. 「宮浦ギャラリー六区」の運営

西沢大良建築設計事務所設計の宮浦ギャラリー六区は、9月8日～12月23日の間、瀬戸内「直島部活史」資料館として、年間77日開館し、1,375人の入館があった。

⑥. 「The Naoshima Plan「水」」の運営

「水」は、直島にある古い日本建築を改装した施設であり、年間72日を開館し、24,597人の入館があった。地域住民等の運営により直島地域住民と来島者の相互交流を促進した。

⑦. 美術施設（石橋・碁会所・はいしゃ）の管理

(株)ベネッセホールディングスに、石橋等の美術施設を減価償却相当額で賃貸し、維持管理費の軽減を図った。

⑧. 「女根／めこん」の運営

女木島にある大竹伸朗の作品となる女根を年間4日開館し、73人の入館があった。なお、児童等無料入館者数は11人であった。運営は、NPO法人瀬戸内こえびネットワークへの委託している。

⑨. レアンドロ作品「不在の存在」の運営

女木島にあるレアンドロ作品である「不在の存在」を年間4日開館し、57人の入館があった。なお、児童等無料入館者数は9人であった。運営は、NPO法人瀬戸内こえびネットワークに委託している。

⑩. 「犬島精錬所美術館、犬島『家プロジェクト』、犬島 ぐらしの植物園」の運営

三分一博志設計の「犬島精錬所美術館」に、柳幸典の作品を展示、年間183日開館、10,888人（対前年△14,083人、43.6%）の入館者に対し、循環型社会の普及を行った。また、児童等の無料入館者は1,095人であった。犬島「家プロジェクト」では、名和晃平、荒神明香、ベアトリス・ミリヤーゼス、半田真規、オラファー・エリアソン等の作品を展示・運営した。自然とともに暮らす喜びを体験する「犬島ぐらしの植物園」の運営も行われた。

⑪. 「豊島美術館」の運営

西沢立衛設計の美術館に、空間造形作家で有名な内藤礼の作品を展示、豊島の中核施設として、年間約287日を開館し、59,026人（対前年△3,722人、94.1%）の入館があった。なお、児童等の無料入館者は3,878人であった。

⑫. 「森万里子作品（トムナフーリ）」の運営

年間を通して休館であった。

⑬. 「ボルタンスキー作品（心臓音のアーカイブ）」の運営

生と死をテーマとしたクリスチャン・ボルタンスキーの作品を展示する美術館。年間287日を開館し、25,057人（対前年△7,510人、76.9%）の入館があった。なお、児童等の無料入館者は1,674人であった。

⑭. 「豊島横尾館」の運営

豊島横尾館は、建築家永山祐子設計の建築に、横尾忠則の作品を展示した美術館で、年間287日開館し、24,387人（対前年△7,620人、76.2%）の入館があった。児童等の無料入館者は1,674人であった。

⑮. 「豊島八百万ラボ」の運営

豊島八百万ラボは、年間を通して休館であった。

⑯. 「針工場」の運営

「針工場」は、豊島家浦地区にある旧針工場に宇和島の造船所にあった船型を運び展示した大竹伸朗作品で、年間 112 日開館、3,228 人（対前年△13,499 人 19.3%）の入館があった。

なお、児童等の無料入館者は 250 人であった。

⑰. 「イル ヴェント」の運営

トビアス・レーベルガーの作品を展示する豊島の美術施設「イル・ヴェント」は、年間を通じて休館であった。

⑱. 「福武ハウス」の運営

小豆島福田地区にある「福武ハウス」は、年間を通じて休館であった。

⑲. 「美術館・美術施設における美術関連商品の販売及び休憩施設の設置」

ア. 「地中ストア」の運営

オリジナル商品と地中美術館に関係する作家及び安藤忠雄の書籍を販売した。

イ. 「李禹煥美術館ストア」の運営

オリジナル商品と李禹煥及び安藤忠雄に関する書籍類を販売した。

ウ. 「直島銭湯 I♥湯ストア」の運営

オリジナル商品及び大竹伸朗に関する書籍類を販売した。

エ. 「ANDO MUSEUM ストア」の運営

オリジナル商品と安藤忠雄に関する書籍類を販売した。

オ. 「宮浦ギャラリー六区ストア」の運営

オリジナル商品と関連する作家の商品・書籍類を販売した。

カ. 「女根ストア」の運営

オリジナル商品と関係する大竹伸朗に関するグッズ類を販売するが、休館中。

キ. 「レアンドロカフェ」の運営

女木島の不在の存在カフェにおいて、飲み物を中心とした軽食を提供するが、休館中。

ク. 「犬島ストア&カフェ」の運営

犬島製錬所美術館、犬島家プロジェクト、犬島くらしの植物園に関係するオリジナル商品と作家の書籍類を販売した。また、カフェにおいて飲み物や軽食を提供した。

ケ. 「豊島美術館ストア&カフェ」の運営

オリジナル商品と内藤礼及び西沢立衛に関する書籍類を販売した。また、カフェでは豊島で取れた食材を使用した飲み物及び軽食を提供した。

コ. 「ボルタンスキーストア」の運営

オリジナル商品とボルタンスキーに関する書籍類を販売した。

サ. 「豊島横尾館ストア」の運営

オリジナル商品と横尾忠則に関する書籍類を販売した。

シ. 「豊島八百万ラボストア」の運営

オリジナル商品と作家に関する書籍類を販売するが、年間を通じて休館中。

ス. 「針工場ストア」の運営

オリジナル商品と大竹伸朗に関するオリジナル商品、書籍類を販売した。

セ. 「福武ハウスストアとカフェ菫田の森テラス」の運営

関連作家の書籍・グッズ類の販売とアジア及び地元関連の飲み物・軽食を提供するが休館中。

ソ. 「地中カフェスペース」の運営委託

(株)ベネッセホールディングスに、地中カフェスペースを減価償却相当額で賃貸し、維持管理費の軽減を図った。

⑳. 美術研究の推進

美術館事業の基礎となる美術研究を進めた。特に、寄託を受けている国吉康雄作品に関連し、当年度は次のような美術研究・国吉研究を実施した。

- ・第3期、3年目となる岡山大学国吉康雄寄付講座（国吉康雄記念・美術教育研究と地域創生講座）の寄付を継続実施（公益財団法人福武教育文化振興財団との共同寄付）。岡山大学では、当年度も同講座が開講され、延べ483人の学生が受講、美術鑑賞教育を学んだ。すべて対面で行い、療養者等にはオンラインで行った。国吉研究の深化等を期待している。また、当年度は、以下の国吉康雄企画展等を実施し、国吉康雄の理解と普及に努めた。
- ・国吉康雄顕彰イベント「国吉祭」を岡山県備前県民局との共催で9月3日から10月13日の期間で実施し、585人が参加した。
- ・茨城県立近代美術館で「国吉康雄展 安眠を妨げる夢～福武コレクションと岡山県立美術館のコレクションを中心に」を10月24日から12月24日で実施し、7,500人が来場。対話探求型鑑賞ツアー10回実施のほか、ワークショップ、講演会を6タイトル実施した。
- ・トム・ウルフ氏をはじめとする国吉研究家と連携し、国吉研究の深化を図るとともに、思考させる画家国吉康雄を関連コンテンツと共にプロデュースする取り組みを進められた。

㉑. アーカイブの整備継続

美術品台帳、美術保存資料、画像、動画ストレージなど、地域に根差した美術館としてのアーカイブ機能の整備を進めた。また、その活用についても、展示企画、広報誌、ブログ、新人教育、研修プログラム、鑑賞プログラムなどでアーカイブを活用した付加価値の高い体験プログラムも推進した。

㉒. 美術施設周辺での地域資源を活用した地域振興の推進、景観保全の推進

美術施設の周辺には、豊かな自然、素晴らしい景観、多様な建築物など、地元の地域資源が現存している。これらを顕在化させた体験プログラムの開発等による地域振興につなげる活動や、美術施設周辺におけるベネッセアートサイト直島一体としての景観保全の動きも進んでいる。

㉓. 直島における（仮称）新美術館建設の進行

直島に（仮称）新美術館の建設を進行中。建築家安藤忠雄氏の設計による美術館で、アジア系作品を中心とした展示を予定している。建設工事はすでに着工しており、令和5年度は建設工事を進行した。作品展示計画も進めている。

④. 美術施設の大規模修繕の実施

美術施設・作品の品質を維持するため、定期的に大規模修繕を実施している。当年度は地中美術館、直島銭湯、豊島美術館、家プロジェクト「石橋」などで大型の修繕工事を実施した。

B 美術に関するイベント並びに国際交流事業

①. シンポジウムの開催

新美術館の開館に向けて以下のイベントを開催した。

□「直島新美術館（仮称）プレイベント第一弾・トーク」の開催

日時：令和5年10月28日（土）

場所：ベネッセハウス パークホール

開催方法：現地対面

テーマ：個々の施設から美術館群へベネッセアートサイト直島のこれまでとこれから

参加者及びプログラム：55名が参加。アートや建築に携わる専門家の方々をお招きしてトークとディスカッションを実施。美術館群という視点からこれまでの歩みを振りかえり、新たな美術館の展望とベネッセアートサイト直島の未来について語り合われた。

②. 「教育普及及びプログラム」の実施

ア. キッズインミュージアム（対象：小中学生）

五感で作品と触れ合うことにより、自己表現の感性を育むためのプログラムを小中学校と連携し、企画・実施した。地中美術館や李禹煥美術館、豊島美術館、犬島にて地元の小学生向けプログラム等も実施している。

イ. プライベートツアー（対象：一般）

より鑑賞を深めたい来場者にギャラリートツアーを開催し、ミュージアムスタッフとともに、美術館を体験するプログラムを提供した。

ウ. ナイトプログラム（対象：一般）

地中美術館の一部の作品において開催。日没にかけて異なる表情の作品を鑑賞するプログラムを提供した。

エ. 地域コンテンツとの一体化プログラム（対象：一般）

直島町役場スタッフの協力のもと直島建築ツアーを実施している。直島建築を通じて、直島の町づくりの思想を伝える機会にもなっている。また、美術施設や地域コンテンツに関連した体験価値を向上させるプログラムを提供した。

オ. 美術施設を中心とした教育プログラム（対象：一般、学生）

対話型鑑賞法を中心に現代アートの鑑賞方法を教育プログラムとして実施している。鑑賞ツールを整備した小中学校・高校生向け鑑賞プログラムや、社会課題などに視野・思考を広げてもらう社会人向け鑑賞プログラムを用意している。

③. 「米&食プロジェクト」の実施

直島、豊島において米の栽培を通じ、地域の文化、環境、住民と触れ合うことで地域活性化につながるプログラムを提供した。

④. 国際交流

□海外広報

海外インバウンドの戻りとともに海外の新聞・雑誌・WEBなどの広報メディアに取り上げられ、海外のメディア露出としては、79件（国内を含めた全体の22.7%）となっている。

□中国プロジェクト

桃花島プロジェクトは中国側が事業主体であり、アート活動として家プロジェクトなどで展示が行われている。当財団は、社会貢献団体への協力等を通じて、文化・芸術による地域振興となる直島メソッドとその背景にある考え方の普及という立場でこのプロジェクトに協力している。

□その他の国際交流

当財団名誉理事長によるオンライン講演を実施。

令和5年5月：世界元気塾向け講演、6月：中国発展研究基金会（CDRF）向け講演

6月：第3回魯村フォーラム開会講演など。

各講演では、ベネッセアートサイト直島及び中国プロジェクトの事例紹介が行われるとともに、当財団活動の基本理念の普及が進められた。

⑤. 瀬戸内国際芸術祭 2025 の開催準備（共催）

瀬戸内国際芸術祭 2025 に向けた開催準備を進めた。

C 美術に関する情報提供並びに出版事業

①. 情報提供事業

当財団のホームページ以外に活動全体をカバーするホームページ「ベネッセアートサイト直島」を(株)ベネッセホールディングスと共同で運営している。アート施設の紹介に加え、ベネッセアートサイト直島の活動や、瀬戸内の島々で日々起こる出来事を紹介している。また、ソーシャルメディアを活用し、ツイッター、フェイスブック、インスタグラム等の情報発信も継続。インスタライブやインフルエンサーによる情報発信等活動の幅を広げている。

②. 広報誌及び美術に関する出版物の刊行

ア. 広報誌の発行

当年度は、年4回、以下の広報誌を発行した。

令和5年7月号：第13回ベネッセ賞とシンガポール・ビエンナーレ 2022

令和5年特別号：2025年春、直島新美術館（仮称）の開館に向けて

令和6年1月号：ベネッセハウスミュージアムーベネッセアートサイト直島の原点として

令和6年4月号：ベネッセアートサイト直島のこれまでと、これからベネッセアートサイト直島の活動全体を捉え、活動のコンセプト、メッセージ等を国内外に向けて発信している。

イ. カタログ・ハンドブック等の刊行

地中美術館、豊島美術館など、主要施設のカタログ・ハンドブック等の刊行をしている。各施設を訪れる方が感動を持ち帰ることができる刊行物としている。

D 地域振興助成事業

①.アートによる地域振興助成

ア. 事業助成

令和5年度の事業助成については、次の助成を実施した。

公募助成：15件、21,984千円

なお、選考委員会は、一次選考、二次選考（プレゼン選考）は対面会議にて実施された。また、令和6年度に向けての募集・選考活動の準備も進めている。

□アートによる地域振興助成の成果報告会・情報共有会を、次のとおり実施した。

実施日：令和5年8月26～27日

参加助成先：18団体

内容：対面とWebの混合会議での情報共有会を開催した。前半は基調講演と1団体からの事例報告、後半は助成先各団体を4グループに分け、分科会形式で、活動内容、悩み、課題と展望などを話し合い、まとめ発表。各選考委員からのご意見もいただき有益な情報共有会となった。

□助成先における活動未実施と助成金の返金

1件の助成先から、計画されていた活動が実施できないため、1,200千円の助成金の返金があった。

イ. 研修助成

助成：0件 申請はあったが、選考委員会での審議の結果、該当者なしとなった。

②. 瀬戸内海地域振興助成

令和5年度の瀬戸内海地域振興助成については、次の助成を実施した。

公募助成：13件、7,013千円

なお、選考委員会は、一次選考は対面とWebの混合会議で、二次選考（面接選考）は対面会議にて実施された。令和6年度に向けての募集・選考活動の準備も進めている。

□瀬戸内海地域振興助成の成果報告会・情報共有会を、次のとおり実施した。

実施日：令和5年9月30～10月1日

参加助成先：14団体

内容：対面とWebの混合会議での情報共有会を開催した。前半は基調講演と1団体からの事例報告、後半は助成先各団体を3グループに分け、分科会形式で、活動内容、悩み、課題と展望などを話し合った。各選考委員からのご意見もいただき有益な情報共有会となった。

E 地域活動の共催支援

地域の人々が主体的に地方公共団体等と協働し地域において自主的に実施する創造的で文化的な表現活動及び地域間交流に対し、自らが関与（共催支援）して事業を行った。

令和5年度共催支援

□瀬戸内国際芸術祭 2025 の開催準備

総合プロデューサーとして当財団名誉理事長が、総合ディレクターとして当財団常任理事が就任し、積極的に活動を支援した。

□大地の芸術祭（越後妻有アートトリエンナーレ）

総合プロデューサーとして当財団名誉理事長が、総合ディレクターとして当財団常任理事が就任し、積極的に活動を支援した。また、共済助成として、助成金 10,000 千円を助成した。

□豊島唐櫃 棚田プロジェクト（香川県豊島）

豊島「食プロジェクト」推進協議会の活動を積極的に支援した。また、共済助成として、助成金 1,500 千円の支払いを実施した。

F 地域振興のためのファンドレイジング

①. ふるさと納税ファンドレイジングサイトの運営

「ふるさと納税」寄付制度は地域振興に非常に大きな意味を持つと考えられることから、これを支援し、紹介するファンドレイジングサイトを運営している。

②. 豊島唐櫃 棚田プロジェクトに関するファンドレイジング

豊島唐櫃 棚田プロジェクトへの共催の一環として、棚田の維持管理のためのファンドレイジングを推進している。また、豊島棚田収穫祭にて、ファンドレイジングにつなげるためのリスト収集を支援した。

G 管理部門の事業報告

①. 新体制の支援と業績回復に向けた事業支援の継続的に実施した

②. 財政規律の適用目途と財政出動なしで収支が回る仕組みの見極めを行った

③. 多様な資金調達手段検討のため事業部門の推進をサポートした

④. 消費税インボイス制度スタートに向けた確実な準備を行い、対応を行った

⑤. 業務を通じた成長支援・キャリア支援や定期的な対話による人が育つ環境作りを進めている。

⑥人材確保の多様化推進するとともに、労働健康基盤の整備を進めている。

⑦Web 会議等を活用した理事会・評議員会開催による公益法人運営を実行している。

⑧ベネッセアートサイト直島内各組織が一体となった会議体運営を実行している。

H 附属明細書

附属明細書に記載する事項なし

II. 処務の概要

1) 役員等に関する事項

(令和6年3月31日現在)

職名	常勤 非常勤	氏名	就任・重任 年月日	担当職務	報酬	現職	備考
代表理事 (理事長)	非常勤	福武 英明	R4.6.11	業務の総括	有	(株)ベネッセホールディングス 取締役	
代表理事 (名誉理事長)	非常勤	福武總一郎	R4.6.11	地中美術館 館長	有	(株)ベネッセホールディングス 名誉顧問	
業務執行理事 (常任理事)	非常勤	北川フラム	R4.6.11	地中美術館 副館長	有	(株)アートフロントギャラリー 代表取締役会長	
理事	非常勤	安藤 忠雄	R4.6.11		有	(株)安藤忠雄建築研究所 代表取締役	
理事	非常勤	岡田 晴奈	R4.6.11		有	(株)ベネッセホールディングス 常務執行役員	
理事	常勤	金代健次郎	R4.6.11		有	公益財団法人福武財団 前事務局長	
理事	非常勤	小林 眞一	R4.6.11		有	直島町長	
理事	非常勤	鈴木 寛	R4.6.11		有	東京大学公共政策大学院 教授	
理事	非常勤	丹呉 泰健	R4.6.11		有	日本たばこ産業(株) 社友	
監事	非常勤	尾尻 哲洋	R4.6.11		有	辻・本郷税理士法人 特別顧問 税理士	
監事	非常勤	和田 朝治	R4.6.11		有	和田・小田弁護士事務所 代表 弁護士	

※令和6年3月31日現在、評議員は9名、選考委員は10名です。

2) 職員に関する事項

(令和6年3月31日現在)

職名	常勤 非常勤	氏名	採用・就任 年月日	担当職務	報酬	備考
事務局長	常勤	笠原 良二	R5.4.1	事業全般統括	有	
部長	常勤	木村 英司	H5.4.1	経営企画	有	(株)ベネッセコーポレーションから出向
部長	常勤	脇 清美	H30.4.1	アドミニ	有	
部長	常勤	大内 航	H24.5.1	瀬戸芸事業	有	(株)アートフロントギャラリーへ出向
部長	常勤	竹之内千夏	H21.4.1	美術館運営・地域支援	有	
部長	常勤	金廣有希子	H19.3.20	アート企画	有	
部長	非常勤	松浦 俊明	H26.9.1	財務	有	(株)南方ホールディングスから出向

※令和6年3月31日現在、職員は52名、契約職員は3名、アルバイト・パートは38名です。

3) 会議等に関する事項

①. 理事会

開催年月日	議 事 事 項	会議の結果
令和 5 年 5 月 23 日	<input type="checkbox"/> 第 72 回理事会（決議の省略） 第 32 回定時評議員会開催承認の件 令和 4 年度における法人会計から公益目的事業会計への財源振替承認の件 令和 4 年度事業報告・決算報告承認の件	全会一致で承認可決 全会一致で承認可決 全会一致で承認可決
令和 5 年 6 月 10 日	<input type="checkbox"/> 第 73 回理事会 議決権行使承認の件（3 分の 2 以上の特別決議） 令和 4 年度事業報告・決算報告についての内閣府への電子申請承認の件 就業規則改定の件 独立行政法人日本芸術文化振興会との日本博 2.0 に関する委託契約締結承認の件 観光再始動事業事務局からの補助金受入承認の件 NPO 法人越後妻有里山協働機構へのうぶすなの家（建物・美術品）無償譲渡承認の件 令和 5 年度修正収支予算承認の件 令和 5 年度関連当事者との取引承認の件 地域振興助成に係る募集要項承認の件 代表理事、業務執行理事の職務執行状況報告（資金運用状況報告含む）	全会一致で承認可決 全会一致で承認可決 全会一致で承認可決 全会一致で承認可決 全会一致で承認可決 全会一致で承認可決 全会一致で承認可決 全会一致で承認可決 各理事より報告
令和 5 年 12 月 5 日	<input type="checkbox"/> 第 74 回理事会（決議の省略） (株)ベネッセホールディングスに対しての公開買付けに係る当財団意思決定承認の件 第 33 回みなし評議員会開催承認の件	全会一致で承認可決 全会一致で承認可決
令和 6 年 3 月 9 日	<input type="checkbox"/> 第 75 回理事会 規程類改定承認の件（就業規則、アルバイト就業規則、育児・介護規程） 地域振興助成及び地域活動の共催支援（自主・共催助成）に係る助成先承認の件 助成選考委員承認の件 令和 5 年度第 2 次修正予算承認の件 令和 6 年度事業計画・収支予算承認の件 令和 6 年度「資金調達及び設備投資の見込みについて」承認の件 令和 6 年度事業計画・収支予算等についての内閣府への電子申請の件 美術研究（国吉研究）に係る岡山大学寄付講座への寄付金支払承認の件 代表理事、業務執行理事の職務執行状況報告（資金運用状況報告含む） 直島新美術館（仮称）進捗状況報告 瀬戸内国際芸術祭 2025 の準備状況報告 今後スケジュールについて	全会一致で承認可決 全会一致で承認可決 全会一致で承認可決 全会一致で承認可決 全会一致で承認可決 全会一致で承認可決 全会一致で承認可決 各理事より報告 事務局より報告 事務局より報告 事務局より報告

②. 評議員会

開催年月日	議 事 事 項	会議の結果
令和 5 年 6 月 10 日	<input type="checkbox"/> 第 32 回定時評議員会 令和 4 年度における法人会計から公益目的事業会計への財源振替承認の件 令和 4 年度事業報告・決算報告承認の件 評議員選任の件 退任評議員への退職慰労金支給及び支給額承認の件	全会一致で承認可決 全会一致で承認可決 全会一致で承認可決 全会一致で承認可決
令和 5 年 12 月 20 日	<input type="checkbox"/> 第 33 回評議員会（決議の省略） (株)ベネッセホールディングスに対しての公開買付けに係る当財団意思決定承認の件定款変更承認の件	全会一致で承認可決

4) 許可、認定、承認、証明等に関する事項

該当なし

5) 契約に関する事項

契約年月日	契約相手先	契約の概要
令和 5 年 4 月 1 日	(株)直島文化村	従業員出向契約
令和 5 年 7 月 11 日	独立行政法人日本芸術文化振興会	日本博 2.0 事業委託契約
令和 5 年 10 月 1 日	岡崎秀紀	犬島土地売買契約 A と B
令和 5 年 10 月 1 日	上杉昌史	戦略作成業務委託契約
令和 5 年 11 月 23 日	(株)ベネッセコーポレーション	システム運用・管理業務委託基本契約
令和 5 年 11 月 30 日	A.T.カーニー(株)	従業員出向契約
令和 6 年 3 月 13 日	ブルーム 2(株)	株引受契約書

6) 寄附金に関する事項

寄付年月日	相手先	寄付目的	寄付金額 (円)	備考
令和 5 年度中	一般鑑賞者	The Naoshima Plan 「水」の修繕	94,808	
令和 5 年度中	一般鑑賞者	犬島精錬所美術館の維持管理	16.105	

7) 行政庁（内閣府）からの指示事項

該当なし

8) 税法上の収益事業の有無

該当なし

9) その他重要事項

該当なし

公益財団法人 福武財団

令和5年度決算報告書（令和5年4月1日～令和6年3月31日）

I. 貸借対照表

II. 正味財産増減計算書

III. 正味財産増減計算書内訳表

IV. 財務諸表に対する注記

V. 附属明細書

VI. 財産目録

VII. 予算対比正味財産増減計算書

VIII. 予算対比収支計算書（収支ベース）

IX. 島別施設別収支計算書 【参考用】

※ 「監査報告書」

I. 貸借対照表（令和6年3月31日現在）

I - 1) 貸借対照表

科 目	当年度	前年度	増減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	103,477,117	90,200,016	13,277,101
売掛金	85,049,123	44,613,171	40,435,952
未収金	5,739,645	21,880,273	△ 16,140,628
棚卸資産	95,179,636	82,673,053	12,506,583
前払金	5,804,931	5,063,070	741,861
前払費用	12,957,420	4,091,274	8,866,146
立替金	1,573,020	2,232,094	△ 659,074
仮払金	1,257,841	0	1,257,841
流動資産合計	311,038,733	250,752,951	60,285,782
2. 固定資産			
(1)基本財産			
土地	22,800,000	22,800,000	0
美術品	17,358,830,475	17,358,830,475	0
普通預金	15,006,008,672	4,423,606	15,001,585,066
定期預金	0	0	0
投資有価証券	7,053,065,748	16,624,197,025	△ 9,571,131,277
基本財産合計	39,440,704,895	34,010,251,106	5,430,453,789
(2)特定資産			
芸術祭事業積立資産	141,565,813	134,605,420	6,960,393
助成事業積立資産	74,363,028	74,361,835	1,193
修繕積立資産	188,462,004	188,460,028	1,976
美術館事業積立資産	172,876,000	137,876,000	35,000,000
事務所建設積立資産	30,000,000	30,000,000	0
特定資産合計	607,266,845	565,303,283	41,963,562
(3)その他の固定資産			
土地	502,240,892	485,040,892	17,200,000
建物	3,038,065,595	2,907,872,901	130,192,694
建設附属設備	198,325,310	118,602,347	79,722,963
構築物	162,995,776	171,759,808	△ 8,764,032
機械装置	294,674	1,222,040	△ 927,366
車両運搬具	34,544	34,544	0
什器備品	18,723,678	17,490,637	1,233,041
美術品	1,821,170,163	1,872,920,163	△ 51,750,000
ソフトウェア	745,052	0	745,052
建設仮勘定	913,662,203	1,123,485,274	△ 209,823,071
敷金	11,210,000	12,210,000	△ 1,000,000
その他投資等	221,810	221,810	0
その他の固定資産合計	6,667,689,697	6,710,860,416	△ 43,170,719
固定資産合計	46,715,661,437	41,286,414,805	5,429,246,632
資産合計	47,026,700,170	41,537,167,756	5,489,532,414
II 負債の部			
1. 流動負債			
買掛金	23,558,212	11,340,476	12,217,736
未払金	54,896,823	47,476,504	7,420,319
未払費用	36,928,339	34,348,965	2,579,374
預り金	10,400,436	6,782,548	3,617,888
前受金	988,074	819,565	168,509
仮受金	0	0	0
未払法人税等	0	0	0
未払消費税等	20,079,900	0	20,079,900
流動負債合計	146,851,784	100,768,058	46,083,726
2. 固定負債			
長期借入金	0	0	0
固定負債合計	0	0	0
負債合計	146,851,784	100,768,058	46,083,726
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
指定正味財産合計	40,017,971,740	34,545,554,389	5,472,417,351
(うち基本財産への充当額)	(39,440,704,895)	(34,010,251,106)	(5,430,453,789)
(うち特定資産への充当額)	(577,266,845)	(535,303,283)	(41,963,562)
2. 一般正味財産			
一般正味財産合計	6,861,876,646	6,890,845,309	△ 28,968,663
(うち基本財産への充当額)	(0)	(0)	0
(うち特定資産への充当額)	(30,000,000)	(30,000,000)	0
正味財産合計	46,879,848,386	41,436,399,698	5,443,448,688
負債及び正味財産合計	47,026,700,170	41,537,167,756	5,489,532,414

II. 正味財産増減計算書（令和5年4月1日～令和6年3月31日）

II - 1) 正味財産増減計算書

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
①. 基本財産運用益	[488,442,223]	[347,455,611]	[140,986,612]
基本財産受取利息振替額	22,962,223	54,507,611	△ 31,545,388
基本財産受取配当金	129,600,000	118,800,000	10,800,000
基本財産受取配当金振替額	335,880,000	174,148,000	161,732,000
②. 特定資産運用益	[0]	[0]	[0]
特定資産受取利息	0	0	0
③. 事業収益	[976,776,589]	[820,296,424]	[156,480,165]
④. 受取補助金等	[10,078,876]	[93,384]	[9,985,492]
⑤. 受取寄附金	[110,913]	[1,262,248,293]	[△ 1,262,137,380]
受取寄附金	110,913	194,622	△ 83,709
受取寄附金振替額	0	1,262,053,671	△ 1,262,053,671
⑥. 雑収益	[9,073,641]	[6,886,101]	[2,187,540]
受取利息	1,607	1,797	△ 190
雑収益	9,072,034	6,884,304	2,187,730
経常収益計	1,484,482,242	2,436,979,813	△ 952,497,571
(2) 経常費用			0
①. 事業費	[1,316,646,477]	[1,403,595,553]	[△ 86,949,076]
期首棚卸高	82,673,053	92,699,895	△ 10,026,842
仕入高	197,858,013	133,006,733	64,851,280
期末棚卸高	△ 95,179,636	△ 82,673,053	△ 12,506,583
給与手当	314,045,750	311,504,775	2,540,975
臨時雇賃金	47,840,102	83,158,197	△ 35,318,095
退職給付費用	7,901,833	8,717,468	△ 815,635
福利厚生費	54,679,656	62,777,998	△ 8,098,342
旅費交通費	24,843,005	29,363,575	△ 4,520,570
通信運搬費	16,552,544	19,034,907	△ 2,482,363
什器備品費	579,210	1,155,570	△ 576,360
消耗品費	17,095,095	15,848,798	1,246,297
減価償却費	164,422,010	164,040,372	381,638
修繕費	129,800,533	103,216,290	26,584,243
印刷製本費	5,194,514	5,679,555	△ 485,041
燃料費	2,263,006	2,566,188	△ 303,182
光熱水料費	37,321,124	42,523,125	△ 5,202,001
賃借料	32,676,876	29,942,886	2,733,990
保険料	7,814,343	7,965,788	△ 151,445
諸謝金	29,442,550	22,207,781	7,234,769
租税公課	27,583,401	7,237,050	20,346,351
負担金	0	100,437,000	△ 100,437,000
助成費	39,211,066	38,218,092	992,974
寄附金	5,000,000	5,300,000	△ 300,000
宣伝広告費	19,672,985	87,115,265	△ 67,442,280
会議費	14,204,584	10,215,543	3,989,041
交際費	2,592,340	1,987,228	605,112
委託費	100,615,915	76,331,918	24,283,997
雑費	29,942,605	24,016,609	5,925,996

Ⅱ - 2) 正味財産増減計算書

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増減
②. 管理費	[145,054,427]	[135,256,546]	[9,797,881]
役員報酬	750,000	750,000	0
給与手当	61,904,247	67,104,108	△ 5,199,861
臨時雇賃金	2,501,182	2,489,445	11,737
役員退職給付費用	300,000	300,000	0
退職給付費用	1,026,186	803,358	222,828
福利厚生費	10,939,438	11,879,607	△ 940,169
旅費交通費	7,771,751	7,784,522	△ 12,771
通信運搬費	7,552,697	7,158,579	394,118
消耗品費	853,221	1,516,719	△ 663,498
減価償却費	7,091,827	7,004,175	87,652
修繕費	1,259,610	998,760	260,850
印刷製本費	1,202,896	933,664	269,232
燃料費	170,174	160,720	9,454
光熱水料費	1,558,522	1,715,809	△ 157,287
賃借料	4,493,110	4,422,901	70,209
保険料	591,964	202,633	389,331
諸謝金	3,022,372	3,517,990	△ 495,618
租税公課	759,374	1,238,980	△ 479,606
寄附金	5,000,000	0	5,000,000
会議費	5,032,848	1,420,566	3,612,282
交際費	1,472,610	2,060,782	△ 588,172
委託費	18,452,458	10,215,659	8,236,799
雑費	1,347,940	1,577,569	△ 229,629
經常費用計	1,461,700,904	1,538,852,099	△ 77,151,195
評価損益等計上前当期經常増減額	22,781,338	898,127,714	△ 875,346,376
評価損益等計	0	0	0
当期經常増減額	22,781,338	898,127,714	△ 875,346,376
2. 經常外増減の部			
(1) 經常外収益			
①. 有価証券売却益	0	0	0
經常外収益計	0	0	0
(2) 經常外費用			
①. 有価証券売却損	0	0	0
②. 固定資産売却損	0	1	△ 1
③. 支払寄付金	41,484,119	0	41,484,119
④. 固定資産評価損	10,265,882	0	10,265,882
經常外費用計	51,750,001	1	51,750,000
当期經常外増減額	△ 51,750,001	△ 1	△ 51,750,000
当期一般正味財産増減額	△ 28,968,663	898,127,713	△ 927,096,376
一般正味財産期首残高	6,890,845,309	5,992,717,596	898,127,713
一般正味財産期末残高	6,861,876,646	6,890,845,309	△ 28,968,663
Ⅱ 指定正味財産増減の部			
基本財産評価損益等	5,427,065,938	△ 2,496,652,123	7,923,718,061
特定資産評価損益等	6,901,199	85,709,137	△ 78,807,938
基本財産受取利息	61,350,074	59,824,449	1,525,625
基本財産受取配当金	335,880,000	307,890,000	27,990,000
特定資産受取利息	62,363	398,505	△ 336,142
受取寄附金	0	182,294,000	△ 182,294,000
一般正味財産への振替額	△ 358,842,223	△ 1,490,709,282	1,131,867,059
当期指定正味財産増減額	5,472,417,351	△ 3,351,245,314	8,823,662,665
指定正味財産期首残高	34,545,554,389	37,896,799,703	△ 3,351,245,314
指定正味財産期末残高	40,017,971,740	34,545,554,389	5,472,417,351
Ⅲ 正味財産期末残高	46,879,848,386	41,436,399,698	5,443,448,688

Ⅲ. 正味財産増減計算書内訳表（令和5年4月1日～令和6年3月31日）

Ⅲ-1) 正味財産増減計算書内訳表

(単位：円)

科 目	公益目的事業会計		法人会計	内部取引 消去	合計
	公1	小計			
I 一般正味財産増減の部					
1. 経常増減の部					
(1) 経常収益					
①. 基本財産運用益	[323,826,223]	[323,826,223]	[164,616,000]	[0]	[488,442,223]
基本財産受取利息振替額	22,962,223	22,962,223	0	0	22,962,223
基本財産受取配当金	0	0	129,600,000	0	129,600,000
基本財産受取配当金振替額	300,864,000	300,864,000	35,016,000	0	335,880,000
②. 特定資産運用益	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]
特定資産受取利息	0	0	0	0	0
③. 事業収益	[976,776,589]	[976,776,589]	[0]	[0]	[976,776,589]
④. 受取補助金等	[10,078,876]	[10,078,876]	[0]	[0]	[10,078,876]
⑤. 受取寄附金	[110,913]	[110,913]	[0]	[0]	[110,913]
受取寄附金	110,913	110,913	0	0	110,913
受取寄附金振替額	0	0	0	0	0
⑥. 雑収益	[9,073,641]	[9,073,641]	[0]	[0]	[9,073,641]
受取利息	1,607	1,607	0	0	1,607
雑収益	9,072,034	9,072,034	0	0	9,072,034
経常収益計	1,319,866,242	1,319,866,242	164,616,000	0	1,484,482,242
(2) 経常費用					
①. 事業費	[1,316,646,477]	[1,316,646,477]		[0]	[1,316,646,477]
期首棚卸高	82,673,053	82,673,053		0	82,673,053
仕入高	197,858,013	197,858,013		0	197,858,013
期末棚卸高	△ 95,179,636	△ 95,179,636		0	△ 95,179,636
給与手当	314,045,750	314,045,750		0	314,045,750
臨時雇賃金	47,840,102	47,840,102		0	47,840,102
退職給付費用	7,901,833	7,901,833		0	7,901,833
福利厚生費	54,679,656	54,679,656		0	54,679,656
旅費交通費	24,843,005	24,843,005		0	24,843,005
通信運搬費	16,552,544	16,552,544		0	16,552,544
什器備品費	579,210	579,210		0	579,210
消耗品費	17,095,095	17,095,095		0	17,095,095
減価償却費	164,422,010	164,422,010		0	164,422,010
修繕費	129,800,533	129,800,533		0	129,800,533
印刷製本費	5,194,514	5,194,514		0	5,194,514
燃料費	2,263,006	2,263,006		0	2,263,006
光熱水料費	37,321,124	37,321,124		0	37,321,124
賃借料	32,676,876	32,676,876		0	32,676,876
保険料	7,814,343	7,814,343		0	7,814,343
諸謝金	29,442,550	29,442,550		0	29,442,550
租税公課	27,583,401	27,583,401		0	27,583,401
助成費	39,211,066	39,211,066		0	39,211,066
寄附金	5,000,000	5,000,000		0	5,000,000
宣伝広告費	19,672,985	19,672,985		0	19,672,985
会議費	14,204,584	14,204,584		0	14,204,584
交際費	2,592,340	2,592,340		0	2,592,340
委託費	100,615,915	100,615,915		0	100,615,915
雑費	29,942,605	29,942,605		0	29,942,605

科 目	公益目的事業会計		法人会計	内部取引 消去	合計
	公1	小計			
②. 管理費			[145,054,427]	[0]	[145,054,427]
仕入高			0		
役員報酬			750,000	0	750,000
給与手当			61,904,247	0	61,904,247
臨時雇賃金			2,501,182	0	2,501,182
役員退職給付費用			300,000	0	300,000
退職給付費用			1,026,186	0	1,026,186
福利厚生費			10,939,438	0	10,939,438
旅費交通費			7,771,751	0	7,771,751
通信運搬費			7,552,697	0	7,552,697
消耗品費			853,221	0	853,221
減価償却費			7,091,827	0	7,091,827
修繕費			1,259,610	0	1,259,610
印刷製本費			1,202,896	0	1,202,896
燃料費			170,174	0	170,174
光熱水料費			1,558,522	0	1,558,522
賃借料			4,493,110	0	4,493,110
保険料			591,964	0	591,964
諸謝金			3,022,372	0	3,022,372
租税公課			759,374	0	759,374
寄附金			5,000,000	0	5,000,000
会議費			5,032,848	0	5,032,848
交際費			1,472,610	0	1,472,610
委託費			18,452,458	0	18,452,458
雑費			1,347,940	0	1,347,940
経常費用計	1,316,646,477	1,316,646,477	145,054,427	0	1,461,700,904
評価損益等調整前当期経常増減額	3,219,765	3,219,765	19,561,573	0	22,781,338
評価損益等計	0	0	0	0	0
当期経常増減額	3,219,765	3,219,765	19,561,573	0	22,781,338
2. 経常外増減の部					
(1) 経常外収益					
経常外収益計	0	0	0	0	0
(2) 経常外費用					
①. 有価証券売却損	0	0	0	0	0
②. 固定資産除却損	0	0	0	0	0
③. 支払寄付金	41,484,119	41,484,119	0	0	41,484,119
④. 固定資産評価損	10,265,882	10,265,882	0	0	10,265,882
経常外費用計	51,750,001	51,750,001	0	0	51,750,001
当期経常外増減額	△ 51,750,001	△ 51,750,001	0	0	△ 51,750,001
他会計振替前当期一般正味財産増減額	△ 48,530,236	△ 48,530,236	19,561,573	0	△ 28,968,663
他会計振替額	9,780,787	9,780,787	△ 9,780,787	0	0
当期一般正味財産増減額	△ 38,749,449	△ 38,749,449	9,780,786	0	△ 28,968,663
一般正味財産期首残高	6,646,307,252	6,646,307,252	244,538,057	0	6,890,845,309
一般正味財産期末残高	6,607,557,803	6,607,557,803	254,318,843	0	6,861,876,646
Ⅱ 指定正味財産増減の部					
基本財産評価損益等	3,616,289,938	3,616,289,938	1,810,776,000	0	5,427,065,938
特定資産評価損益等	6,901,199	6,901,199	0	0	6,901,199
基本財産受取利息	61,350,074	61,350,074	0	0	61,350,074
基本財産受取配当金	300,864,000	300,864,000	35,016,000	0	335,880,000
特定資産受取利息	62,363	62,363	0	0	62,363
受取寄附金	0	0	0	0	0
一般正味財産への振替額	△ 323,826,223	△ 323,826,223	△ 35,016,000	0	△ 358,842,223
当期指定正味財産増減額	3,661,641,351	3,661,641,351	1,810,776,000	0	5,472,417,351
指定正味財産期首残高	29,222,970,389	29,222,970,389	5,322,584,000	0	34,545,554,389
指定正味財産期末残高	32,884,611,740	32,884,611,740	7,133,360,000	0	40,017,971,740
Ⅲ 正味財産期末残高	39,492,169,543	39,492,169,543	7,387,678,843	0	46,879,848,386

IV. 財務諸表に対する注記

1) 継続組織の前提に関する注記

該当なし

2) 重要な会計方針

(1) 有価証券の評価基準及び評価方法

満期保有目的の債券 … 償却原価法（定額法）によっている。

その他の有価証券

市場価格のあるもの … 期末日の市場価格に基づく時価法（売上原価は移動平均法により算定）によっている。

市場価格のないもの … 移動平均法による原価法によっている。

(2) 棚卸資産の評価基準及び評価方法

最終仕入原価法を採用している。

(3) 固定資産の減価償却方法

建物 … 定額法によっている。

建物附属設備 … 定率法によっている。

構築物 … 定率法によっている。

機械装置 … 定率法によっている。

車両運搬具 … 定率法によっている。

船舶 … 定率法によっている。

什器備品 … 定率法によっている。

ソフトウェア（自社利用）… 法人内における利用可能期間（主として5年）に基づく定額法によっている。

(4) 外貨建預金の評価方法

決算日の為替相場に基づく時価法によっている。

(5) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込方式によっている。

3) 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
土地	22,800,000	0	0	22,800,000
美術品	17,358,830,475	0	0	17,358,830,475
普通預金	4,423,606	19,899,591,611	4,898,006,545	15,006,008,672
投資有価証券	16,624,197,025	10,628,750,797	20,199,882,074	7,053,065,748
小計	34,010,251,106	30,528,342,408	25,097,888,619	39,440,704,895
特定資産				
芸術祭事業積立資産	134,605,420	6,960,393	0	141,565,813
助成事業積立資産	74,361,835	1,193	0	74,363,028
修繕積立資産	188,460,028	1,976	0	188,462,004
美術館事業積立資産	137,876,000	35,000,000	0	172,876,000
事務所建設積立資産	30,000,000	0	0	30,000,000
小計	565,303,283	41,963,562	0	607,266,845
合 計	34,575,554,389	30,570,305,970	25,097,888,619	40,047,971,740

4) 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産 からの充当額)	(うち一般正味財産 からの充当額)	(うち負債に 対する額)
基本財産				
土地	22,800,000	(22,800,000)	(0)	-
美術品	17,358,830,475	(17,358,830,475)	(0)	-
普通預金	15,006,008,672	(15,006,008,672)	(0)	-
投資有価証券	7,053,065,748	(7,053,065,748)	(0)	-
小計	39,440,704,895	(39,440,704,895)	(0)	-
特定資産				
芸術祭事業積立資産	141,565,813	(141,565,813)	(0)	-
助成事業積立資産	74,363,028	(74,363,028)	(0)	-
修繕積立資産	188,462,004	(188,462,004)	(0)	-
美術館事業積立資産	172,876,000	(172,876,000)	(0)	-
事務所建設積立資産	30,000,000	(0)	(30,000,000)	-
小計	607,266,845	(577,266,845)	(30,000,000)	-
合 計	40,047,971,740	(40,017,971,740)	(30,000,000)	-

5) 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
建物	4,673,786,765	1,635,721,170	3,038,065,595
建物附属設備	635,406,370	437,081,060	198,325,310
構築物	706,869,121	543,873,345	162,995,776
機械装置	20,693,436	20,398,762	294,674
車両運搬具	4,132,318	4,097,774	34,544
什器備品	145,967,228	127,243,550	18,723,678
ソフトウェア	757,680	12,628	745,052
合 計	6,187,612,918	2,768,428,289	3,419,184,629

6) 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

内 訳	当期末残高
経常収益への振替額	
基本財産受取利息	22,962,223
基本財産受取配当金	335,880,000
受取寄附金	0
合 計	358,842,223

7) 関連当事者との取引の内容

関連当事者との取引の内容は、次のとおりである。

属性	対象者	法人等の名称	関係内容		住所	資産総額 (単位： 百万円)	事業の 内容	議決権の 所有割合	取引の内容	取引金額 (単位：円)	科目	期末残高 (単位：円)							
			役員の 兼務等	事業上 の関係															
代表理事 理事長	福武 英明	(株)パピレ ホールディングス	取締役	-	岡山県 岡山市 北区南方 3-7-17	-	教育 出版他	-	鑑賞料収入 商品他販売収入	44,995,548	売掛金	17,160							
									地中加工賃料収入	8,256,888	前受金	688,074							
									地中サケットセー 地代	102,000	前払費用	17,000							
									李美術館地代	2,393,844	前払費用	199,487							
									関連書籍 仕入他	206,200	買掛金	84,760							
									パピレ他 利用料	5,383,233	未払金	657,656							
									グループイン等 使用料	2,093,990	-	0							
代表理事 名管理事長	福武 総一郎	本人	-	-	-	-	-	-	土地賃借料	240,000	前払費用	20,000							
									アートバンク報酬	10,185,180	-	0							
業 務 執 行 理 事	北川 フラム	本人	-	-	-	-	-	-	上記に係る旅費	0	未払金	0							
									特定非営利活動法人 瀬戸内 こえび ネットワーク	代表理事	-	香川県 高松市 リポート1-1	-	瀬戸内国際 芸術祭活動 支援	-	鑑賞料等収入	90,790	売掛金	0
																施設修繕費用	90,322	未払金	0
																ガイド料	0	未払金	0
																会議等食事代	10,000	未払金	0
																鑑賞料収入	29,830	売掛金	0
									(株)アート ギャラリー	代 表 取締役 会 長	-	東京都 渋谷区 猿樂町 29-18	-	美術全般の デザイン・ 制作等	-	出向者費用	5,680,617	未収金	424,281
施設修繕費用	0	未払金	0																
会議等食事代	40,500	未払金	0																
理事	鈴木 寛	(前)環境創造研究所	議決権の全数 を有する	-	兵庫県 神戸市 垂水区 桃山台 4-5-6	-	コメディック	-	業務指導料	4,888,800	未払金	407,400							
監 事	尾尻 哲洋	辻・本郷 税理士法人	特 別 顧 問	-	東京都 新宿区 新宿 4-1-6	-	会計税務 サービス	-	業務指導料	1,980,000	-	0							
監 事	和田 朝治	本人	-	-	-	-	弁護士	-	業務指導料	264,000	前払金 未払金	88,000 0							
評議員	福武 美津子	(株)イグランド	代表取締役	-	岡山県 岡山市 北区絵図町 9-40	-	飲食 宿泊業	-	会議等食事代	91,500	未払金	0							
									(一社) 食で未来を創る アカデミー	代表理事	-	岡山県 岡山市 北区絵図町 9-40	-	飲食 宿泊業	-	宿泊・食事代	30,230	未払金	0

8) 公益目的保有財産の明細

公益目的保有財産の明細は、次のとおりである。

(単位：円)

財産種別	公益認定前取得 不可欠特定財産	その他の 公益目的保有財産	使用事業
基本財産 土地		32,550 m ² 香川県直島町立石3447-1 22,800,000	公1
基本財産 美術品	直島町立石 地中美術館内 モネ5、タレル3、デマリア1 17,358,830,475		公1
基本財産 普通預金		中国銀行 普通預金口座 6,864,758	公1
基本財産 普通預金		ほか、普通預金口座 7,865,783,914	公1
基本財産 投資有価証券		ブルーム2株式 42,440株 2,122,000,000	公1
基本財産 投資有価証券		公社債、投資信託、 不動産投資証券他 4,931,065,748	公1
その他固定資産 土地		472,695 m ² 直島、豊島、犬島 467,396,646	公1
その他固定資産 美術品		直島、豊島、犬島 李、内藤、大竹、ボルタンスキー作品他 1,650,076,994	公1
その他固定資産 建物		直島、豊島、犬島 地中、李、豊島美、犬島精錬所他 2,894,922,671	公1
その他固定資産 建物附属設備		直島、豊島、犬島 地中、李、豊島美、犬島精錬所他 195,630,918	公1
その他固定資産 構築物		直島、豊島、犬島 地中、李、豊島美、犬島精錬所他 162,995,776	公1
その他固定資産 車両運搬具		直島、豊島、犬島他 軽トラック 34,543	公1
その他固定資産 工具・器具・備品		直島、豊島、犬島 地中、李、豊島美、犬島精錬所他 13,492,245	公1
その他固定資産 機械装置		直島、豊島 銭湯、ボルタンスキー他 294,674	公1
その他固定資産 建設仮勘定		直島、豊島、犬島 美術施設・美術館員寮他 913,662,203	公1
その他固定資産 敷金		豊島、犬島 美術施設土地敷金他 11,210,000	公1
その他固定資産 ソフトウェア			公1
その他固定資産 その他投資等		直島、犬島 美術館AED保証金他 47,720	公1
合計	17,358,830,475	21,259,023,862	

注： 公1は、「文化・芸術による地域社会の発展に関する事業」

注： 公益認定後取得不可欠特定財産はありません。

9) その他

(1) 金融商品の状況に関する注記

1. 金融商品に対する取組方針

当法人は、法人運営の財源の大部分を運用益によって賄うため、債券、株式、投資信託、デリバティブ取引を組み込んだ複合金融商品により資産運用する。

当法人が利用するデリバティブ取引は、デリバティブを組み込んだ複合金融商品（仕組債、仕組預金）のみであり、一定の金額を限度としている。なお、投機目的のデリバティブ取引は行わない方針である。

2. 金融商品の内容及びそのリスク

投資有価証券は、債券、株式、投資信託、デリバティブ取引を組み込んだ債券（仕組債）であり、発行体の信用リスク、市場リスク（金利の変動リスク、為替の変動リスク及び市場価格の変動リスク）にさらされている。

3. 金融商品のリスクに係る管理体制

①資産運用規程に基づく取引

金融商品の取引は、当法人の資産運用規程に基づき行う。

②信用リスクの管理

債券及び仕組債については、発行体の信用情報や時価の状況を定期的に把握し、理事会に報告する。

③市場リスクの管理

株式については、時価を定期的に把握し、理事会に報告する。

投資信託については、関連する市場の動向を把握し、運用状況を理事会に報告する。

V. 附属明細書

1) 基本財産及び特定資産の明細

基本財産及び特定資産の明細は、次のとおりである。

(単位：円)

区分	資産の種類	期首帳簿価額	当期増加額	当期減少額	期末帳簿価額
基本財産	土地	22,800,000	0	0	22,800,000
	美術品	17,358,830,475	0	0	17,358,830,475
	普通預金	4,423,606	19,899,591,611	4,898,006,545	15,006,008,672
	投資有価証券	16,624,197,025	10,628,750,797	20,199,882,074	7,053,065,748
	基本財産計	34,010,251,106	30,528,342,408	25,097,888,619	39,440,704,895
特定資産	芸術祭事業積立資産	134,605,420	6,960,393	0	141,565,813
	助成事業積立資産	74,361,835	1,193	0	74,363,028
	修繕積立資産	188,460,028	1,976	0	188,462,004
	美術館事業積立資産	137,876,000	35,000,000	0	172,876,000
	事務所建設積立資産	30,000,000	0	0	30,000,000
	特定資産計	565,303,283	41,963,562	0	607,266,845

VI. 財産目録（令和6年3月31日現在）

VI-1) 財産目録

(単位：円)

貸借対照表科目	場所・物量等	使用目的等	金額
(流動資産)			
現金預金	現金手許有高 中国銀行／富田町支店 (No.XXXXXX3) 中国銀行／富田町支店 (No.XXXXXX4) 中国銀行／富田町支店 (No.XXXXXX9) 百十四銀行／直島支店 (No.XXXXXX7) 百十四銀行／直島支店 (No.XXXXXX3) 百十四銀行／直島支店 (No.XXXXXX2) ゆうちょ銀行／16330 (No.XXXXX291) ゆうちょ銀行／16370 (No.XXXXX591) ゆうちょ銀行／16330 (No.XXXXX031) ゆうちょ銀行／16390 (No.XXXXX561) ゆうちょ銀行／16360 (No.XXXXX981) ゆうちょ銀行／16310 (No.XXXXX451) ゆうちょ銀行／16310 (No.XXXXX091) ゆうちょ銀行／16380 (No.XXXXX061) 楽天銀行／第一営業支店 (No.XXXXXX5) Payoneer 米ドル口座 (No.XXXXXXX5)	運転資金として 運転資金として 運転資金として 運転資金として 運転資金として 運転資金として 運転資金として 運転資金として 運転資金として 運転資金として 運転資金として 運転資金として 運転資金として 運転資金として 運転資金として 運転資金として 運転資金として 運転資金として 運転資金として 運転資金として	8,074,249 18,751,235 2,923,667 1,661,681 32,471,997 31,161,869 1,565,812 91,510 358,235 356,581 305,593 370,839 1 9,231 0 5,374,617 0
売掛金		事業収入の売掛金	85,049,123
未収金		立替請求等の未収金	5,739,645
棚卸資産	地中美術館ストア商品 李美術館ストア商品 直島銭湯「I♥湯」商品 ANDO MUSEUM スストア商品 六区ストア商品 犬島「精錬所」ストア・カフェ商品 豊島美術館ストア・カフェ商品 ポルトانسキースストア商品 横尾館ストア商品 針工場ストア商品 福武ハウスストア商品		40,544,555 10,952,129 8,995,706 1,823,990 252,126 6,179,094 20,864,248 3,017,870 793,149 1,450,422 306,347
前払金		事業費・管理費に係る前払金	5,804,931
前払費用		事業費・管理費に係る前払費用	12,957,420
立替金		事業費・管理費に係る立替金	1,573,020
仮払金		事業費・管理費に係る仮払金	1,257,841
流動資産合計			311,038,733
(固定資産)			
基本財産			
土地	香川県直島町立石3447-1 (9,434㎡)、3448-1 (4,003㎡)、3449-1 (14,415㎡)、3454-1 (4,698㎡)	公益目的事業に使用している	22,800,000
美術品	絵画：加ト・モネ、「睡蓮の池」、200×300cm×2面 絵画：加ト・モネ、「睡蓮」、200×200cm 絵画：加ト・モネ、「睡蓮-柳の反映」、200×100cm 絵画：加ト・モネ、「睡蓮の池」、200×100cm 絵画：加ト・モネ、「睡蓮-草の茂み」、200×213cm 室内インスタレーション：ウオルター・デ・マリア、「タイム、タイムス、ノ・タイム」 室内インスタレーション：ジューズ・タレル、「オープンサイド」 室内インスタレーション：ジューズ・タレル、「アフロム、ヘル・アール」 室内インスタレーション：ジューズ・タレル、「オープンフィート」	公益目的事業を行うために不可欠な特定の財産として使用している 同上 同上 同上 同上 同上 同上 同上 同上	6,000,000,000 3,000,000,000 1,900,000,000 1,900,000,000 4,188,830,475 340,000,000 10,000,000 10,000,000 10,000,000

VI-2) 財産目録

(単位：円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額
基本財産	普通預金	中国銀行／富田町支店 (No.XXXXXX3)	公益目的保有財産であり、運用益を公益目的事業の財源として使用している	6,864,758
		住信SBIネット銀行 ハイブリッド円 (1XX-XXXXX9)	同上	6,950,342,706
		住信SBIネット銀行 USドル (1XX-XXXXX9)	同上	2,418
		三井住友銀行／岡山支店 (No.XXXXXX2)	同上	8,048,798,790
	投資有価証券	ブルーム2株式会社 42,440株	公益目的保有財産。(株)ベネッセホールディングスとの連携維持目的で保有している	2,122,000,000
		公社債 (第3回ソフトバンクG無担保劣後債)	公益目的保有財産であり、運用益を公益目的事業の財源として使用している	48,290,000
		外貨建投資信託 (米国株式ETF・社債ETF他 9銘柄)	同上	3,286,001,984
		外貨建債券 (ゴールドマン・サックスUSD債券他 8銘柄)	同上	676,011,371
		不動産投資証券 (GLP投資証券他 7銘柄)	同上	338,727,468
		投資信託他 (MAXIS トピックス上場投信他 1銘柄)	同上	582,034,925
特定資産	芸術祭事業 積立資産	普通預金：中国銀行／富田町支店 (No.XXXXXX3)	公益目的事業 (芸術祭事業) 実施のため	83,079,939
		USドル外貨普通預金：中国銀行／本店営業部 (No.XXXXXX8)	同上	58,485,874
	助成事業 積立資産	普通預金：中国銀行／富田町支店 (No.XXXXXX4)	公益目的事業 (助成事業) 実施のため	74,361,482
		豪ドル外貨普通預金：中国銀行／本店営業部 (No.XXXXXX5)	同上	1,545
		NZドル外貨普通預金：中国銀行／本店営業部 (No.XXXXXX3)	同上	1
	修繕積立資産	普通預金：中国銀行／富田町支店 (No.XXXXXX3)	公益目的事業 (修繕) 実施のため	188,462,004
	美術館事業 積立資産	普通預金：中国銀行／富田町支店 (No.XXXXXX3)	公益目的事業 (美術館事業) 実施のため	137,876,000
		普通預金：楽天銀行／第一営業支店 (No.XXXXXX5)	同上	35,000,000
事務所建設 積立資産	普通預金：中国銀行／富田町支店 (No.XXXXXX3)	管理業務の財源とするため	30,000,000	

VI-3) 財産目録

(単位：円)

貸借対照表科目	場所・物量等	使用目的等	金額	
その他の固定資産	土地	犬島精錬所美術館土地 岡山市東区犬島	公益目的保有財産	502,240,892
		豊島美術館土地 香川県小豆郡土庄町豊島	467,396,646	
		豊島虻山土地 香川県小豆郡土庄町豊島		
		The Naoshima Plan「水」土地 香川県香川郡直島町 他		
	建物	直島事務局事務所土地 香川県香川郡直島町	管理業務に使用	3,038,065,595
		豊島鯛ヶ浜土地 香川県小豆郡土庄町豊島 他	9,000,000	
			遊休財産として	
			25,844,246	
		地中美術館建物 コンクリート造り	公益目的保有財産	
		豊島美術館メイン棟建物 コンクリート造り	2,894,922,671	
	建物附属設備	犬島精錬所美術館建物 鉄骨造り	管理業務に使用	198,325,310
		李禹煥美術館建物 コンクリート造り 他	142,436,116	
		直島事務局事務所建物 5階建ビル	遊休財産として	
		直島宮浦寮、下津寮	706,808	
	構築物	直島建物改修工事 他	公益目的保有財産	162,995,776
		直島地中美術館通信照明設備、犬島精錬所浄化槽設備 他	195,630,918	
		直島事務局事務所空調設備 他	管理業務に使用	
	機械装置	直島建物附属設備改修工事 他	1,542,879	294,674
		犬島精錬所外構、豊島美術館外構、李美術館外構 他	遊休財産として	
	車両運搬具	豊島心臓音のアーカイブ録音装置 他	1,151,513	34,544
運搬用車両		公益目的保有財産		
什器備品	車両	34,543	18,723,678	
	直島作品関連備品、豊島作品関連備品 他	管理業務に使用		
	直島事務局事務所オフィス家具 他	1		
美術品	直島事務局事務所オフィス家具 他	13,492,245	1,821,170,163	
	李禹煥作品「無限門」	管理業務に使用		
ソフトウェア	大竹伸朗作品「女根」	5,231,433	745,052	
	内藤礼作品「母型」 他	1,650,076,994		
建設仮勘定	遊休状態にある美術品	遊休財産として	913,662,203	
	助成事業管理ソフトウェア	171,093,169		
敷金	直島美術施設、直島美術館事業従業員寮建設支出 他	公益目的保有財産	11,210,000	
	美術施設土地賃借敷金 他	公益目的保有財産		
その他投資等	美術館AED保証金 他	47,720	221,810	
	電話加入権 他	管理業務に使用		
固定資産合計		174,090	46,715,661,437	
資産合計			47,026,700,170	
(流動負債)				
買掛金		事業費に係る買掛金	23,558,212	
未払金		事業費及び管理費に係る未払金	54,896,823	
未払費用		事業費及び管理費に係る未払費用	36,928,339	
未払消費税		事業費に係る未払消費税	20,079,900	
預り金		事業費及び管理費に係る預り金	10,400,436	
前受金		事業費に係る前受金	988,074	
流動負債合計			146,851,784	
固定負債合計			0	
負債合計			146,851,784	
正味財産			46,879,848,386	

Ⅶ. 予算対比正味財産増減計算書（令和5年4月1日～令和6年3月31日）

Ⅶ-1) 予算対比正味財産増減計算書

（単位：円）

科 目	予算	決算	差異
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
①. 基本財産運用益	[519,870,568]	[488,442,223]	[31,428,345]
基本財産受取利息振替額	54,390,568	22,962,223	31,428,345
基本財産受取配当金	129,600,000	129,600,000	0
基本財産受取配当金振替額	335,880,000	335,880,000	0
②. 特定資産運用益	[0]	[0]	[0]
特定資産受取利息	0	0	0
③. 事業収益	[956,004,642]	[976,776,589]	[△ 20,771,947]
④. 受取補助金等	[12,673,000]	[10,078,876]	[2,594,124]
⑤. 受取寄附金	[31,640,944]	[110,913]	[31,530,031]
受取寄附金	105,544	110,913	△ 5,369
受取寄附金振替額	31,535,400	0	31,535,400
⑥. 雑収益	[6,570,735]	[9,073,641]	[△ 2,502,906]
受取利息	1,715	1,607	108
雑収益	6,569,020	9,072,034	△ 2,503,014
経常収益計	1,526,759,889	1,484,482,242	42,277,647
(2) 経常費用			
①. 事業費	[1,338,845,095]	[1,316,646,477]	[22,198,618]
期首棚卸高	82,673,053	82,673,053	0
仕入高	200,615,748	197,858,013	2,757,735
期末棚卸高	△ 100,931,000	△ 95,179,636	△ 5,751,364
給与手当	314,018,374	314,045,750	△ 27,376
臨時雇賃金	49,092,532	47,840,102	1,252,430
退職給付費用	8,158,822	7,901,833	256,989
福利厚生費	56,127,281	54,679,656	1,447,625
旅費交通費	31,661,148	24,843,005	6,818,143
通信運搬費	16,924,889	16,552,544	372,345
什器備品費	751,000	579,210	171,790
消耗品費	18,936,787	17,095,095	1,841,692
減価償却費	164,632,373	164,422,010	210,363
修繕費	136,725,386	129,800,533	6,924,853
印刷製本費	5,693,022	5,194,514	498,508
燃料費	2,140,161	2,263,006	△ 122,845
光熱水料費	36,638,174	37,321,124	△ 682,950
賃借料	33,255,417	32,676,876	578,541
保険料	7,793,053	7,814,343	△ 21,290
諸謝金	29,161,322	29,442,550	△ 281,228
租税公課	23,050,291	27,583,401	△ 4,533,110
助成費	39,800,000	39,211,066	588,934
寄附金	5,000,000	5,000,000	0
宣伝広告費	23,530,592	19,672,985	3,857,607
会議費	14,509,910	14,204,584	305,326
交際費	2,816,799	2,592,340	224,459
委託費	106,585,643	100,615,915	5,969,728
雑費	29,484,318	29,942,605	△ 458,287

Ⅶ－２）予算対比正味財産増減計算書

(単位：円)

科 目	予算	決算	差異
②. 管理費	[145,617,269]	[145,054,427]	[562,842]
役員報酬	750,000	750,000	0
給与手当	60,950,216	61,904,247	△ 954,031
臨時雇賃金	2,458,353	2,501,182	△ 42,829
役員退職給付費用	300,000	300,000	0
退職給付費用	938,937	1,026,186	△ 87,249
福利厚生費	10,960,688	10,939,438	21,250
旅費交通費	4,396,325	7,771,751	△ 3,375,426
通信運搬費	7,504,017	7,552,697	△ 48,680
消耗品費	1,226,440	853,221	373,219
減価償却費	7,091,827	7,091,827	0
修繕費	1,606,840	1,259,610	347,230
印刷製本費	1,165,653	1,202,896	△ 37,243
燃料費	221,175	170,174	51,001
光熱水料費	1,653,241	1,558,522	94,719
賃借料	4,324,595	4,493,110	△ 168,515
保険料	530,256	591,964	△ 61,708
諸謝金	2,878,240	3,022,372	△ 144,132
租税公課	2,289,004	759,374	1,529,630
寄附金	5,000,000	5,000,000	0
会議費	6,017,742	5,032,848	984,894
交際費	1,488,845	1,472,610	16,235
委託費	20,515,234	18,452,458	2,062,776
雑費	1,349,641	1,347,940	1,701
經常費用計	1,484,462,364	1,461,700,904	22,761,460
評価損益等調整前当期經常増減額	42,297,525	22,781,338	19,516,187
評価損益等計	0	0	0
当期經常増減額	42,297,525	22,781,338	19,516,187
2. 經常外増減の部			
(1) 經常外収益			
①. 有価証券売却益	0	0	0
經常外収益計	0	0	0
(2) 經常外費用			
①. 有価証券売却損	0	0	0
②. 固定資産除却損	0	0	0
③. 支払寄付金	41,484,119	41,484,119	0
④. 固定資産評価損	10,265,882	10,265,882	0
經常外費用計	51,750,001	51,750,001	0
当期經常外増減額	△ 51,750,001	△ 51,750,001	0
当期一般正味財産増減額	△ 9,452,476	△ 28,968,663	19,516,187
一般正味財産期首残高	6,890,845,309	6,890,845,309	0
一般正味財産期末残高	6,881,392,833	6,861,876,646	19,516,187
Ⅱ 指定正味財産増減の部			
基本財産評価損益等	0	5,427,065,938	△ 5,427,065,938
特定資産評価損益等	0	6,901,199	△ 6,901,199
基本財産受取利息	54,390,568	61,350,074	△ 6,959,506
基本財産受取配当金	335,880,000	335,880,000	0
特定資産受取利息	30,552	62,363	△ 31,811
一般正味財産への振替額	△ 421,805,968	△ 358,842,223	△ 62,963,745
当期指定正味財産増減額	△ 31,504,848	5,472,417,351	△ 5,503,922,199
指定正味財産期首残高	34,545,554,389	34,545,554,389	0
指定正味財産期末残高	34,514,049,541	40,017,971,740	△ 5,503,922,199
Ⅲ 正味財産期末残高	41,395,442,374	46,879,848,386	△ 5,484,406,012

Ⅷ. 予算対比収支計算書（収支ベース）（令和5年4月1日～令和6年3月31日）

Ⅷ-1) 予算対比収支計算書（収支ベース）

（単位：円）

勘定科目		予算	決算	差異	備考	
大科目	中科目					
I 事業活動収支の部						
1. 事業活動収入						
①	基本財産運用収入	519,870,568	526,830,074	△ 6,959,506		
②	特定資産運用収入	30,552	62,363	△ 31,811		
③	事業収入	956,004,642	976,776,589	△ 20,771,947	鑑賞料収入および物販収入の増加	
④	補助金等収入	12,673,000	10,078,876	2,594,124	一部事業関連の催行取止めによる減少	
⑤	寄附金収入	105,544	110,913	△ 5,369		
⑥	雑収入	6,570,735	9,073,641	△ 2,502,906		
事業活動収入計		1,495,255,041	1,522,932,456	△ 27,677,415		
2. 事業活動支出						
①	事業費支出					
	仕入高	200,615,748	197,858,013	2,757,735	仕入時期の見送りによる減少	
	給与手当支出	314,018,374	314,045,750	△ 27,376		
	臨時雇賃金支出	49,092,532	47,840,102	1,252,430	欠員等による減少	
	退職給付支出	8,158,822	7,901,833	256,989	欠員等による減少	
	福利厚生費支出	56,127,281	54,679,656	1,447,625	欠員等による減少	
	旅費交通費支出	31,661,148	24,843,005	6,818,143	出張計画見直しや採用関連旅費などの減	
	通信運搬費支出	16,924,889	16,552,544	372,345		
	什器備品費支出	751,000	579,210	171,790		
	消耗品費支出	18,936,787	17,095,095	1,841,692		
	修繕費支出	136,725,386	129,800,533	6,924,853	修繕計画見直し等による減少	
	印刷製本費支出	5,693,022	5,194,514	498,508		
	燃料費支出	2,140,161	2,263,006	△ 122,845		
	光熱水料費支出	36,638,174	37,321,124	△ 682,950		
	賃借料支出	33,255,417	32,676,876	578,541		
	保険料支出	7,793,053	7,814,343	△ 21,290		
	諸謝金支出	29,161,322	29,442,550	△ 281,228		
	租税公課支出	23,050,291	27,583,401	△ 4,533,110	収入増に伴う消費税の増加	
	支払負担金支出	0	0	0		
	助成費支出	39,800,000	39,211,066	588,934		
	寄附金支出	5,000,000	5,000,000	0		
	宣伝広告費支出	23,530,592	19,672,985	3,857,607	施策見直し等による減少	
	会議費支出	14,509,910	14,204,584	305,326		
	交際費支出	2,816,799	2,592,340	224,459		
	委託費支出	106,585,643	100,615,915	5,969,728	施策見直し等による減少	
	雑費支出	29,484,318	29,942,605	△ 458,287		
	小計	1,192,470,669	1,164,731,050	27,739,619		
②	管理費支出					
	役員報酬支出	750,000	750,000	0		
	給与手当支出	65,485,616	61,904,247	3,581,369		
	臨時雇賃金支出	2,458,353	2,501,182	△ 42,829		
	役員退職給付支出	300,000	300,000	0		
	退職給付支出	938,937	1,026,186	△ 87,249		
	福利厚生費支出	10,960,688	10,939,438	21,250		
	旅費交通費支出	4,396,325	7,771,751	△ 3,375,426		
	通信運搬費支出	7,504,017	7,552,697	△ 48,680		
	消耗品費支出	1,226,440	853,221	373,219		
	修繕費支出	1,606,840	1,259,610	347,230		
	印刷製本費支出	1,165,653	1,202,896	△ 37,243		
	燃料費支出	221,175	170,174	51,001		
	光熱水料費支出	1,653,241	1,558,522	94,719		
	賃借料支出	4,324,595	4,493,110	△ 168,515		
	保険料支出	530,256	591,964	△ 61,708		
	諸謝金支出	2,878,240	3,022,372	△ 144,132		
	租税公課支出	2,289,004	759,374	1,529,630		
	寄附金支出	5,000,000	5,000,000	0		
	会議費支出	6,017,742	5,032,848	984,894		
	交際費支出	1,488,845	1,472,610	16,235		
	委託費支出	20,515,234	18,452,458	2,062,776		
	雑費支出	1,349,641	1,347,940	1,701		
	小計	143,060,842	137,962,600	5,098,242		
	事業活動支出計		1,335,531,511	1,302,693,650	32,837,861	
	事業活動収支差額		159,723,530	220,238,806	△ 60,515,276	

勘定科目		予算	決算	差異	備考
大科目	中科目				
Ⅱ 投資活動収支の部					
1. 投資活動収入					
①	基本財産取崩収入	0	25,097,888,619	△ 25,097,888,619	ベネッセ株売却に伴う一時収入
②	芸術祭事業積立資産取崩収入	0	0	0	
	修繕積立資産取崩収入	0	0	0	
	美術館事業積立資産取崩収入	31,535,400	0	31,535,400	当年度取崩しなし
	助成事業積立資産取崩収入	0	0	0	
③	土地売却収入	0	0	0	
④	敷金・保証金戻り収入	0	1,000,000	△ 1,000,000	
投資活動収入計		31,535,400	25,098,888,619	△ 25,067,353,219	
2. 投資活動支出					
①	基本財産取得支出	6,466,688	25,101,276,470	△ 25,094,809,782	ベネッセ株売却部分再投資に伴う一時支出等
②	その他固定資産取得支出	182,751,734	181,093,119	1,658,615	
③	芸術祭事業積立資産繰入支出	0	59,334	△ 59,334	
	助成事業積立資産繰入支出	0	1,053	△ 1,053	
	修繕積立資産繰入支出	0	1,976	△ 1,976	
	美術館事業積立資産繰入支出	0	35,000,000	△ 35,000,000	次年度以降分積立
	事務所建設積立資産繰入支出	0	0	0	
④	敷金支出	0	0	0	
投資活動支出計		189,218,422	25,317,431,952	△ 25,128,213,530	
投資活動収支差額		△ 157,683,022	△ 218,543,333	60,860,311	
Ⅲ 財務活動収支の部					
1. 財務活動収入					
①	借入金収入	0	0	0	
財務活動収入計		0	0	0	
2. 財務活動支出					
①	借入金返済支出	0	0	0	
財務活動支出計		0	0	0	
財務活動収支差額		0	0	0	
Ⅳ 予備費支出					
予備費支出		0	0	0	
当期収支差額		2,040,508	1,695,473	345,035	
前期繰越収支差額		67,311,840	67,311,840	0	
合併による繰越収支差額増加額		0	0	0	
次期繰越収支差額		69,352,348	69,007,313	345,035	

IX. 島別施設別収支計算書（令和5年4月1日～令和6年3月31日）【参考用】

(単位：千円)

勘定科目		直島・女木島グループ							
大科目	中科目	地中&NP	李	銭湯	ANDO	六区		女根&レアド	計
I 事業活動収支の部									
1. 事業活動収入									
事業収入	公益事業収入	345,256	67,835	15,889	29,030	490		0	458,501
	公益販売事業収入	160,547	31,715	15,121	11,101	71		0	218,555
	小計	505,803	99,550	31,010	40,131	561		0	677,055
その他収入	雑収入他	217	0	0	0	0		0	217
事業活動収入計		506,020	99,550	31,010	40,131	561		0	677,272
2. 事業活動支出									
事業費支出		318,747	60,507	44,102	21,912	2,457		2,230	449,954
事業活動支出計		318,747	60,507	44,102	21,912	2,457		2,230	449,954
事業活動収支差額	【決算】	187,273	39,044	△ 13,092	18,220	△ 1,896		△ 2,230	227,318
	【予算】	174,347	32,559	△ 15,213	15,161	△ 1,926		△ 2,418	202,510
	増減	12,926	6,485	2,121	3,059	30		189	24,808

勘定科目		犬島・豊島・小豆島グループ							
大科目	中科目	犬島	豊島美・森	ボル&ささやきの森	横尾館	八百万ラボ	針工場	福武ハウス	計
I 事業活動収支の部									
1. 事業活動収入									
事業収入	公益事業収入	23,512	92,650	13,007	12,161	0	1,942	0	143,272
	公益販売事業収入	15,459	123,950	9,536	2,544	0	689	0	152,177
	小計	38,971	216,600	22,543	14,705	0	2,631	0	295,449
その他収入	雑収入他	9,232	36	0	0	0	0	0	9,268
事業活動収入計		48,203	216,635	22,543	14,705	0	2,631	0	304,717
2. 事業活動支出									
事業費支出		89,289	176,082	16,206	17,161	201	8,001	1,170	308,111
事業活動支出計		89,289	176,082	16,206	17,161	201	8,001	1,170	308,111
事業活動収支差額	【決算】	△ 41,086	40,553	6,337	△ 2,456	△ 201	△ 5,370	△ 1,170	△ 3,394
	【予算】	△ 41,450	36,102	5,623	△ 2,725	△ 198	△ 5,449	△ 1,222	△ 9,319
	増減	363	4,451	714	268	△ 4	79	52	5,925

令和 6 年 5 月 20 日

公益財団法人 福武財団
理事長 福武 英明 殿

公益財団法人 福武財団

監事 和 田 朝 治 

監事 尾 尻 哲 洋 

監 査 報 告 書

私たち監事は、令和5年4月1日から令和6年3月31日までの公益財団法人福武財団の事業年度の理事の職務の執行について監査を行いましたので、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律第197条において準用する第99条第1項並びに公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律施行規則第33条第2項の規定に基づき本監査報告書を作成し、以下のとおり報告いたします。

1 監査の方法及びその内容

私たち監事は、理事及び使用人等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会その他重要会議に出席し、理事及び使用人等から財産の状況及び職務の執行について報告を受け、重要な決裁書類等を閲覧し、業務及び財産の状況を調査しました。

以上の方法によって、当該年度に係る事業報告及びその附属明細書を監査しました。

さらに会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行い、当該年度に係る計算書類（貸借対照表及び正味財産増減計算書）及びその附属明細書並びに財産目録について監査しました。

2 監査の結果

(1) 事業報告等の監査結果

① 事業報告及びその附属明細書は、法令及び定款に従い、当法人の状況を正しく示しているものと認めます。

② 理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められません。

(2) 計算書類及びその附属明細書並びに財産目録の監査結果

計算書類及びその附属明細書並びに財産目録は当法人の財産及び損益の状況をすべて重要な点において適正に表示しているものと認めます。

以 上